



## 2022 World Monuments Watch プログラムの概要と推薦要項

### World Monuments Watch とは？

World Monuments Watch (略称「Watch」)は、課題に直面していたり、または国際社会に直接関係する突出した機会を提示する文化遺産を発見し、光を当て、行動を起こすことを目的とした 2 年間サイクルのプログラムです。Watch では毎回、その文化的重要性、国際的な喫緊の課題における対策の必要性、World Monuments Fund (WMF) の支援が有意義な結果をもたらす可能性、などの観点から 25 の文化遺産が選定されます。Watch を通して、WMF は地元の関係者と協働し、啓発等支援活動(アドボカシー)から計画立案、教育普及活動、さらに歴史的建造物環境における修復など物理的な介入までを含む、対象を絞った保存プログラムを作成、実施します。Watch プログラムは、創設時より文化遺産保護を通して人類の福利向上に資することを最終目標としています。

WMF の中核プログラムとして、Watch は WMF が新しいパートナーと関わり、新たな協働の機会を追求するための主要な手法となっています。

### 2022 Watch

Watch の 2022 年のサイクルは、私たちの世界がいかに密接なつながりをもっているかが明らかとなった昨今の状況の中で実施されます。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、人命そして生計の喪失という悲劇をもたらすと同時に、多くの社会を機能不全に陥れています。コミュニティの福利を脅かすパンデミックにより文化遺産の運用は阻害され、利用可能な資源も大幅に削減されています。より広い視点では、新型コロナウイルスにより、世界の多くの地域で文化遺産保護がマスツーリズムおよび観光経済に依存していることが露呈し、より強固なデスティネーション・レジリエンス(観光地の回復力)の必要性が指摘されています。世界にもたらされた破壊的影響という点で、パンデミックは他の迫り来る課題、とりわけ地球規模の気候変動の実際とその予想される影響に類似しています。そして世界の密接なつながりは、公共空間やそこにある史跡、そしてそれらに関して語り継がれる事柄(ナラティブ)がもっと校正に取り扱われるべきだという声が、国境を越えて広がっていることにも表れています。

2022 ウォッチでの推薦(ノミネート)では、これらの課題に対する革新的な対処方法を明らかにして提案したり、今後現れる他の課題や機会を指摘するようなものが最も優位になるでしょう。

### 求められている推薦例は？

以下の幅広い基準を高評価でクリアするような文化遺産の推薦を望みます。

- 文化遺産としての文化的重要性
- 緊急、乃至タイムリーな行動の必要性または機会
- 提案された手法の実現性

さらに、気候変動やマストゥーリズムといった世界的課題に関わっていたり、過小評価されている文化的価値を特定し詳述し得る文化遺産の推薦を求めています。

過小評価されてきた文化遺産:世界のどこにおいても、文化遺産は長い歴史の中で人類の営みにより培われた豊かな文化を反映しています。しかし、ある文化遺産をその場所、成果、伝え継がれる事柄(ナラティブ)で認め称えるとき、社会は特定のグループを優遇し、他のグループを過小評価することで、私たちが共有する文化的多様性を損なってしまう恐れがあります。最近世界各地で起こった出来事を見ても、特定のグループの価値観や歴史が見過ごされてきたばかりでなく、公的な場における表現機会が奪われていたり、何をどう保存するか意思決定からも意図的に除外されてきた事実が明るみとなっています。さらに、国を越えた正義公平を求める声は、特定の遺跡が過去の不正を永続させる要素となっていることを浮き彫りにしました。同時に、複雑な歴史を持つ文化遺産は、私たちが過去の歴史問題と向き合い、より公平で公正な社会を築く手助けとなる可能性を示唆しています。この認識に応えて、私たちはあらゆる文化遺産を包括するため、以下の可能性を提示する推薦を募集します:

- これまで過小評価されてきた文化遺産にスポットを当て、見過ごされ、除外されてきたナラティブを称えるもの
- 過小評価されてきた文化遺産の研究、調査、目録の作成
- 外的要因により生活が脅かされたコミュニティのストーリーや受け継がれてきた知識、技術を記録することで、コミュニティをサポートするもの
- 文化遺産保存の意思決定において、過小評価されてきたグループ(民族、カースト制、人種、宗教、ジェンダー、移民、障がい、性的指向などを理由として)を積極的に受け入れるもの
- 記念碑や記念する行為について本質的な問題を提起し、重要な出来事や社会運動を記念する新たな手法を模索するもの

気候変動: 気候危機がもたらす課題に取り組むことは世界的な責任です。私たちは、文化遺産と気候変動との関わりを明らかにするような推薦を求めています。気候変動に起因する物理的影響により、あらゆるコミュニティにおいて文化的価値が損なわれたり失われようとしています。同時に、それらの影響をみるに、気候問題に対しては喫緊の取り組みが必要であることがわかります。建造物文化遺産は、気候変動の緩和に貢献できる可能性があります。例えば既存の建物を再利用し、エネルギー利用効率を上げ公害を減らす対策を講じることで、新たな建物を建設することで生じる二酸化炭素排出を抑制することができるのです。しかしそれらの緩和策は文化遺産の貴重な側面に影響を与える可能性があります。文化資源は、コミュニティのレジリエンス向上に貢献したり適応戦略の一部になる場合もあります。しかし、文化遺産の喪失ということが予想し得る不可避の現実でもあることを思えば、その可能性をより考慮する必要があるのかも知れません。これらの課題に対応するため、以下の推薦を募集します。

- 気候変動が及ぼす文化遺産への影響を明らかにし、気候危機の緊急性を伝えるもの

- 文化遺産がどのように気候変動の軽減や、適応・レジリエンスに寄与できるかを示すもの
- 気候危機を勘案し、文化遺産やコミュニティへの災害リスクを軽減するもの
- 文化遺産周辺の土地利用などその保護計画を改善し、気候変動の影響を軽減しレジリエンスを高めることにつながるもの
- 事例や政策立案を通して、文化遺産保護と再生可能エネルギー開発の両立を図るもの
- 気候変動に適応するための適切な判断を下すため、人々が歴史的環境の何に価値を見い出すのかを理解するための新たな手法を模索するもの
- 失われゆく文化遺産を記録および伝えつなぐ手法を模索するもの

不均衡ツーリズム(所謂マスツーリズム)：観光産業は、社会に多くの課題を提起します。人気の観光スポットの周辺住民は、多くの観光客が訪れることにより日常生活が阻害され、地価の高騰により長くその地に暮らしていた人々が立ち退かざるを得ない状況に発展し、文化遺産を維持する地域社会に影響を与える可能性があります。たくさんの観光客が押し寄せることにより、地域社会が大切にしている重要な文化遺産が損傷することもあります。観光業への過度な依存は、持続不可能な慣例を促進し、環境悪化や地域文化の商品化につながるとともに、新型コロナウイルスの感染拡大による観光地への影響でも見られたように、地域のレジリエンスを限定することにもなりかねません。しっかり管理されている観光戦略でも改善の余地があり、地域社会と観光客双方への見返りを最大化し、より公平に配分することが可能です。これらの課題に対応するため、以下のことを可能にするような推薦を募集します

。

- 革新的で利用しやすい手法で、文化遺産の観光体験を改善する
- 遠方からの観光客への依存を減らし、地元住民や国内観光客を惹きつける
- 来訪者管理慣行を改善する
- 現地に行かずに人々が文化遺産やその保存プロセスをリモートで体験することができる革新的な手法を構築、実践する
- 観光地の一般的なレジリエンス、および文化遺産に特化したレジリエンスを構築するもの
- 文化遺産のあるコミュニティが、より公平に観光業による恩恵を受けられるようにするもの

このセクションで挙げられた課題に加え、今まで以上に世界の関心と呼び、文化遺産に影響をあたえるような他の関連課題や新たな問題を提起するものの推薦も歓迎します。

#### 対象となる文化遺産の種類

2022 World Monuments Watch は、古代から現代までのあらゆる時代の文化遺産を対象としています。それらには、考古遺跡や一般の建物、商業またはレジャー施設、住居、宗教関係の建物および史跡、工学・産業構造物、庭園や公園、文化的景観、都市景観、または歴史的市街地全体などが含まれます。文化遺産は記念碑的なものである必要はありませんが、人類の共通の歴史において重要性をもつものとし、文化的重要性については、推薦されたそれぞれの文化遺産に含まれる価値観の全容と背景を考慮した包括的な視点から評価します。

#### 推薦者の資格と要件

2022 World Monuments Watch への文化遺産推薦は、一般市民、市民社会団体、コミュニティグループ、政府機関、教育機関など、誰でもできます。WMF は、文化遺産の保存を目的とする団体にとどまらず、異なる分野の団体からの Watch 応募も歓迎しています。その場合応募者の課題が当プログラムのそれとどのように合致するかを説明していただく必要があります。

文化遺産の法律上の所有者の同意(申請に対する)は推奨されますが、必須ではありません。選定された文化遺産の所有者には、2022 World Monuments Watch の発表前にその通知があります。

Watch の推薦、審査、選考プロセスの途中および事後、および発表後、推薦者と WMF との緊密な連携が必要となります。推薦者は推薦に関して WMF と直接やりとりし、2022 World Monuments Watch への選定に際した当該文化遺産の正式なスポンサーとなることが求められます。また、選定された文化遺産の推薦者の役割として、文化遺産に関し随時最新状況を報告したりメディアの取材や地域社会の参加を促進し、WMF とプログラムを共同開発することなどが期待されています。

## プログラムのサイクルと活動

2021 年 10 月から開始される 2 年間のサイクルを通して、推薦者と 2022 Watch に選定された文化遺産は、コミュニケーションや地域社会参加の促進、そして適切なプロジェクトを協働して策定するなど、さまざまな機会が与えられます。

### サイクルの開始

Watch の発表は、世界中の幅広い層を対象にした重要なメディアイベントです。WMF は、報道機関や SNS、公式サイトなどを通じ、また推薦者と連携しながら現地のアドボカシー活動を支援することにより、選定された 25 箇所の文化遺産に対する国際的な認知向上に取り組めます。これにより、Watch は課題の緊急性を喚起するとともに、関係者(ステークホルダー)による協力を促します。

### Watch Day(ウォッチ・デー)を通じての地域社会の参加

活動への地域社会の参加および協力をさらに促進するため、WMF は推薦者とともにウォッチ・デーを開催し、1 日のイベントを通じ共通の取り組みへの支援体制を構築します。

### 関係の構築と共同プロジェクトの策定

WMF は、推薦者および他の関係者と協働し、目的達成のための共同プロジェクトを策定します。プロジェクトには、地域および世界に向けたアドボカシー・キャンペーン、計画策定、調査、教育普及、および歴史的建造物への修復等物理的な介入が含まれます。すべてのプロジェクトは、文化遺産保存の手法を用いて、世界に共通する課題に取り組むことを目的としています。

WMF は、さまざまなソースからこれらのプロジェクトを支援するための資金を調達する予定です。具体的な支援金額は保証されないものの、支援者が確定された後でもプログラムが進行するにつれ追加予算が支給される可能性があります。また推薦者は、Watch 選定文化遺産に関心をもった幅広い支援

者から追加の援助を獲得出来る可能性もあります。それら支援者には、国や地方自治体、基金、企業、他の国際団体および個人寄付者などが含まれます。

以下に挙げる前回の 2020 Watch プログラムサイクルでの事例は、推薦者やプロジェクトの種類、それらが目指す成果を例示しています。

ラパ・ヌイ(チリ、イースター島):ラパ・ヌイは、マウ・ヘヌア先住民コミュニティにより 2020 World Monuments Watch に推薦されました。彼らはラパ・ヌイ国立公園の運営管理における先住民のより大きな権限を求める運動をおこし、認められました。先住民コミュニティは、オロンゴの貴重な岩の彫刻の保存のための適切な手段を模索するために、Watch への推薦を通して WMF に支援を求めたのです。WMF とマウ・ハヌア先住民コミュニティは、地質学と構造工学の専門家とともに問題を調査して可能な手段を特定し、コミュニティを主体とした意思決定プロセスを推進しています。

ベナリー高架橋(英国):イングランドのイースト・ミッドランド地方に所在する歴史的建造物である錬鉄製の高架橋は、地域住民が利用するための高架橋の再建を目指すボランティア団体の Friends of Bennerley Viaduct(ベナリー高架橋友の会)が、同会の取り組みへの支援と活動の周知を目的とし、2020 World Monuments Watch に推薦しました。Watch を通じて、WMF は、同遺産への取り組みを支援する市民社会団体連合に参加し、友の会とともに教育普及および地域参加活動の計画策定を行っています。

マム・ラシャン聖堂(イラク、シンジャール):2014 年にイスラム国を自称する過激派組織 IS によって破壊されたヤジディの聖人を祀るマム・ラシャン聖堂は、Eyzidi Organization for Documentation(ヤジディ文書化団体)によって 2020 World Monuments Watch に推薦されました。マム・ラシャン聖堂は、IS により迫害された少数民族ヤジディの人々のシンジャールへの帰還に際し、彼らのためにヤジディの聖堂を再建しようという運動を支持し、残忍な犯罪の被害者であるコミュニティとの団結を表明することを掲げ Watch に選定されました。WMF は現在、ヤジディ文書化団体や歴史学者などの専門家と共に、マム・ラシャン聖堂の再建を進めています。

オンタリオ・プレイス(カナダ、トロント):1971 年にオンタリオ湖の湖畔の人口島群にオープンした娯楽施設オンタリオ・プレイスは、施設の未来を提唱するため結成された草の根運動の団体 Ontario Place for All (みんなのオンタリオ・プレイス)により 2020 World Monuments Watch に推薦されました。推薦者とその協力者達は、公開協議のプロセス抜きに同地の再開発を進めようとしていたオンタリオ州政府に抵抗していました。WMF は推薦者とカナダの学術機関と連携し、デザインコンペの企画立案、施設の歴史およびアーカイブの調査、文書化作業、SNS によるキャンペーン活動、一般向けイベント、オンラインシンポジウム立案など一連の活動に寄与しています。

稲荷湯(日本、東京):由緒ある銭湯の稲荷湯は、失われゆく日本の生活習慣の一部である共同入浴と銭湯の役割にスポットを当てるため、銭湯の所有者に代わり 2020 Watch に推薦されました。プロジェクトでは、付帯する建物をカジュアルな集会所に改装することが計画されており、WMF は、プロジェクトを通じ、銭湯が人との交流を促進し、孤独や孤立を妨げる役割を現代社会でも果たせることを証明すると共に、日本固有の生活習慣について関心のある外国人観光客など新たな客層を掘り起こすことを目指しています。

セントラル・アギーレ歴史地区(アメリカ合衆国、プエルトリコ):かつてのアメリカの製糖会社の町であり、2017 年にハリケーンイルマとハリケーンマリアにより打撃を受けたセントラル・アギーレの住宅街は、The State Historic Preservation Office of the Commonwealth of Puerto Rico(プエルトリコ米国自治連邦区の国立歴史保存事務所)により Watch に推薦されました。WMF は現地組織や政府と協働し、住民や、電気技師や配管工などの技術者を対象とする伝統的な木造建築工法のフィールドスクールを開催し、修復のモデルプロジェクトを行う予定です。

## よくある質問

Watch で選定された文化遺産は危機に瀕しているのですか？

Watch で選定された 25 の文化遺産はどれも特殊な状況、問題に直面しています。多くがリスク要因の緩和などでより望ましい結果を生み出すタイミングにあります。Watch では危機という限られた状況にとどまらずより広範な課題に直面した文化遺産を対象としています。また、Watch での WMF 支援ではタイムリーな行動が求められます。ある文化遺産を取り巻く状況を脅威にさらされていると表現することはあっても、Watch 選定の 25 の文化遺産を危機遺産と総称することは適切ではありません。

選考プロセスはどれくらい狭き門なのでしょう？

これまで Watch のサイクルごとに寄せられる推薦の数は、200~300 件あります。私たちは常に、注目と支援に値するより多くの要望に応えられる方法を模索しています。

個人所有の文化遺産は対象になりますか？

個人所有の文化遺産も Watch の選定対象となりますが、所有権が個人の場合 WMF は個人への経済的利益は与えることはできず、活動範囲が限定される可能性があります。

以前に Watch で選定された推薦は受け付けられますか？

Watch プログラムに既に推薦されたことのある、または過去に選定された文化遺産も再度推薦することができます。同じ審査および選考プロセスを経ますが、文化遺産を取り巻く状況が前回からどう変化したかという点が重点的に考慮されます。

Watch を通じて私の文化遺産に対して資金援助してもらうことは可能ですか？

WMF は助成金支給団体ではなく、また Watch への文化遺産の推薦は、助成金に応募するものではありません。Watch で選定されるということは、WMF、推薦者およびその他の関係者に文化遺産保存プロジェクトを協働して立案する機会が与えられるということです。そして、WMF によって調達された資金は、WMF とプロジェクトパートナーとの協働支援活動に使用されます。

## 応募方法

### 新規推薦の開始、応募方法

1. 応募要項を十分確認するとともに今後の参照のためダウンロードしてください。
2. 2022 World Monuments Watch への推薦フォームの新しいユーザー認証を得てください。認証情報は以下のサイトで作成できます。  
[https://fs3.formsite.com/wmwatch/2022/form\\_login.html](https://fs3.formsite.com/wmwatch/2022/form_login.html)
3. 入力項目に記入してフォームを完成させてください。入力内容を保存して作業を中断し、また後日フォームを完成することができます。質問には文字数制限がありますので留意してください。
4. パスワードを忘れた場合、推薦フォームのログインページの「Forget Password?」(パスワードをお忘れですか?)を選択してください。
5. パートJの「Submit」(送信)ボタンをクリックして推薦フォームを送信してください。フォームを送信後、ご提出いただいた応募フォームは閲覧のみが可能となり、推薦内容の変更やデータの追加はできませんのでご注意ください。

応募の締め切りは 2021 年 5 月 1 日(月)、米国東部標準時間午後 5 時です。